

12月の事務ごよみ

経理・税務

●電帳法の宥恕期間が終了

ことし12月末に、電子取引データ保存に関する宥恕措置が終了します。2024年1月から保存要件に従った電子取引データの保存が必要になりますので、いま一度制度の内容を確認するとともに、社内体制を整えましょう。

新しい猶予措置の下、保存要件が緩和される場合もあるので、自社の状況の把握に努めましょう。

●年末調整の実施

年末調整事務に際しては、「扶養控除等（異動）申告書」や「保険料控除申告書」などを各社員から提出してもらいます。

各種所得控除を受けるには、払込証明書類などの添付が必要ですから、併せて提出を促しましょう。

また、担当者としては、社員から疑問点を尋ねられた場合、的確にアドバイスできるようにしておきましょう。

税務署主催の年末調整説明会は令和3年から廃止されていますが、国税庁の「年末調整がよくわかるページ（令和5年分）」や年末調整計算シートを

活用し、ミスのないよう進めましょう。

年末調整事務については、10月20日発行の増刊特大号『令和5年版 年末調整の進め方と令和6年の税務・保険事務の手引き』にまとめています。

●12月決算法人の決算対策

12月決算法人では、毎月の定例事務と並行して、決算作業も進めなければなりません。この時期は、冬季賞与の計算・支給、年末調整事務なども重なります。早め早めを心がけて効率的に処理を進めましょう。

●年末・年度末に向けての必要資金の確保

年末・年度末は、資金繰りがタイトになりがちです。直前になって慌てないように余裕をもって準備を進めたいところです。

歳末商戦用に仕入れた商品の支払いと納税時期が重なる場合、決算資金の手当ても考える必要があります。借入が必要なら、早めに取引銀行との折衝を進めます。

また、営業部門と緊密に連携を図り、常にも増して、債権の保全と回収に気を配りましょう。

●納期の特例が適用される場合の源泉税等の納期限

源泉所得税と復興特別所得税、特別徴収住民税は、原則として給与などが

ら税額を徴収した月の翌月10日までに納付します。

ただし、常時雇用している社員が10名未満の企業は、申請により納期の特例の承認を受け、年2回にまとめて納付することが可能です。

納期の特例の承認を受けた場合、特別徴収住民税は、6月～11月の6か月間に特別徴収した税額を12月10日（ことしは日曜日のため11日）までに納付することになります。

なお、源泉所得税と復興特別所得税は、年末調整の結果に基づき、7月～12月に源泉徴収した税額を翌年1月20日（2024年は土曜日のため22日）までに納付します。

●1月からの源泉徴収事務の準備

1月には、年末調整の結果に基づく給与所得の源泉徴収票（給与支払報告書）、退職所得の源泉徴収票（特別徴収票）などの支払調書を作成し、所轄税務署や社員（受給者）の住所地の市区町村に提出しなければなりません。

早めに提出の要否や記載要領の確認を済ませるとともに、2024年の賃金台帳（一人別源泉徴収簿）の用意を進め、社員のマイナンバーの取得モレがないか再確認しておきましょう。

法定調書の種類ごとに、前々年に提出すべきであった当該法定調書の枚数

が100枚以上である法定調書については、e-Tax、光ディスク等またはクラウド等による提出が義務化されています。提出義務の判定は法定調書の種類ごとに行なわれるので、国税庁ホームページ等で確認してください。

人事・労務

●冬季賞与の支給と保険料の徴収

冬季賞与を支給する企業では、社員ごとの考課・査定から支給、そして支給額に応じた保険料の徴収事務があります。

賞与を支払った場合は、「被保険者賞与支払届」を作成し、支給日から5日以内に所轄の年金事務所（一部の健康保険組合も含みます）か日本年金機構の事務センターに提出します。

また、賞与から徴収した保険料は、被保険者負担分と会社負担分を合わせて、納入告知書に従って翌月末までに納付します。

●内定者のフォロー

新卒の採用内定者を確保できた中小企業にとって、来年春の正式採用まで、気を抜くことはできません。採用内定者に対しては、入社までの期間も

企業側から積極的なフォローを行なうようにしましょう。

オンラインやメールでの連絡もよいですが、先輩社員や他の内定者とのリアルな交流を深めておくと、入社後、会社になじめやすくなるでしょう。

スケジュールの合う学生には、会社見学や自社でアルバイトとして仕事を体験してもらいましょう。そうすることで、社内の雰囲気や仕事内容を知ってもらえることができます。

あわせて、社会人としての心構えを身につけさせたり、仕事への意欲を高めたりする取組みも大切です。

なお12月から、積雪指定地域での来春3月中学校卒業予定者の採用選考が解禁されます（積雪指定地域以外は原則2024年1月からです）。

●社員の退職に伴う事務

12月は、3月に次いで社員の退職が多くなる時期です。

退職者が出た場合は、社会保険・労働保険の切替え・資格喪失などの関連事務を的確に行なうとともに、業務の引継ぎや、社員証、社章、制服など会社の貸与物の回収手続きも忘れずに行ないましょう。

●パート・アルバイトの確保と労働条件の整備

年末商戦の時期は、パート・アルバイトが戦力として欠かせない企業も多いと思われます。必要な人手を確保するには、早めに募集をかけることが肝要です。

労働条件や社会保険の加入等に関するトラブルを回避するためにも、契約内容をしっかりと確認・整備しておくことが大切です。

●労務管理の徹底

年末から年度末にかけて業務が集中し、どの部署でも長時間労働になりやすいことを踏まえ、適切な労務管理に努めましょう。

特定の社員に仕事が偏ることを避けるため、業務の割振り方も工夫しましょう。

特にテレワークでは、上司の目が届きにくいこともあり、人によって仕事の繁閑に差が生じやすいので注意が必要です。

労働時間の管理が不適切だと、後になって労使間のトラブルに発展する可能性があります。

●社員の健康管理と労災防止

これからのシーズンは、気温が下がり乾燥も進むことから、体調を崩しやすいくなります。

毎年12月1日～翌年1月15日は「建設業年末年始労働災害防止強調期間」「年末年始無災害運動」の実施期間と

12月の事務ごよみ

され、ポスターやリーフレット等の頒布が行なわれています。ツールも活用し、職場の安全や労働者の健康の確保に努めてください。

総務・法務

●アルコール検知器を用いたアルコールチェックの義務化

12月1日より、白ナンバー事業者も、アルコール検知器を用いて、運転者の酒気帯びの有無を確認し、それを記録・保存することが義務化されています。

安全運転管理者の選任義務・解任命令等の違反に対する罰則も、2022年から強化されています。

いま一度、関係法令や社内ルールを確認し、担当者に徹底すると同時に、アルコール検知器の点検も済ませておきましょう。

●年賀状ほか郵送・輸送の早期手配

年賀特別郵便の取扱いは、12月15日から開始されます。元日に確実に届くよう、早めに投函しましょう。

この時期は通常の郵便や輸送も混雑するので、余裕を持って準備を進めることが大切です。特に年内必着であるものは早めに手配しておきましょう。

●盗難等の事故防止

事務所荒らしやひったくりなど、金銭に関する犯罪が多くなる時期でもあります。特に集金帰りの営業担当者、現金を扱う経理担当者に注意喚起を行ない、事故防止を徹底しましょう。

●安全運転の呼びかけ

年末は交通渋滞が多発し、同じルートや距離を走る場合でも、普段より時間がかかります。積雪地や寒冷地では、路面の凍結にも注意を要します。

配送担当者やマイカー通勤者に、安全運転の徹底と効率的な移動を指導しましょう。飲酒の機会が増える時期でもありますので、飲酒運転の禁止も再認識させましょう。

●年末大掃除の実施

大掃除を実施する場合、年内のゴミ収集日を確認し、早めに清掃スケジュールを決めて社員に伝えます。通常業務に支障が出ないよう計画を立てて取り組むことが重要です。

ゴミの分別方法や廃棄場所は周知したか、廃棄物収集業者の手配は済んだかなど、事前にチェックします。

60^分では、デスク周りの整理整頓のコツについて解説しています。

●年末年始前後の事務

年末年始休暇の前には、取引先への日程の再確認、万一の際の通報先や緊

急連絡先の整備などをモレなく行ないましょう。

仕事始めの日には、社員の出社状況の確認や、年賀郵便の整理・関係部署への配付といった事務があります。

●来年の準備、業務計画の確認

迎春用の飾付け、初出式の準備のほか、年休を暦年で一斉付与する企業では、来年の各人別年休日数の計算などを行います。

また、総務部門は、全社の正月からの業務計画を把握して、年間行事・就業に関するカレンダーを作成し、社員に周知します。

72^分では、2024年1月～3月の主な業務をチェックリストにまとめています。業務の進捗状況の確認などに役立ててください。

来月の計画を立てるために

▽2024年（令和6年）分の「扶養控除等（異動）申告書」の配付と受理事務があります

▽源泉徴収票など法定調書、固定資産税の償却資産申告書の作成・提出事務が控えています

▽労働者死傷病（軽度）報告（2023年10月～12月分）の提出期限です
▽労働保険料を延納している場合の第3期分の納期です



民族の音楽 コーラム

スリランカ南部の沿岸地方では、コーラムと呼ばれる仮面舞踊劇が伝承されている。人間や動物、神々や

魔物など100もの種類がある仮面を身につけて、ヤク・ベラヤ（シンハラ語で悪魔の太鼓の意）という胴長の太鼓の音に合わせて踊り、スリランカの夜の熱気を濃密なものにする。（切絵・文＝前田尋）

イベントガイド

◆秩父夜祭

日時：12月2日～3日

場所：埼玉県秩父市

大きな笠鉦と屋台、寒夜の空を飾る花火が見もの。「秩父祭の屋台行事と神楽」を含む『山・鉦・屋台行事』は、ユネスコ無形文化遺産に登録されている。

◆東京ビジネスチャンスEXPO

日時：12月6日～7日

場所：東京ビッグサイト

独自の技術や珍しい商材を持つ都内中小企業が出展。業種や規模、地域の枠を

超えたビジネスマッチングができる。

◆国際画像機器展2023

日時：12月6日～8日

場所：パシフィコ横浜

マシンビジョン、AI・ディープラーニングなど、画像に関する技術を展示。専門家による最新のトピックスや製品技術紹介などの講演も行なわれる。

◆商業施設・店舗 DX 展

日時：12月13日～15日

場所：東京ビッグサイト

店舗向け AI・IoT、店舗効率化システム、デジタルサイネージ、無人店舗システムなど店舗 DX 技術が出展される。

◆赤穂義士祭

日時：12月14日

場所：兵庫県赤穂市

切腹させられた赤穂藩主浅野長矩の家臣47人が仇討ちを果たした日に行なわれる。この「赤穂事件」をテーマとしたパレードや物産市が開催される。

◆厳島神社 鎮火祭

日時：12月31日

場所：広島県廿日市

厳島の御笠^{みかさのはま}浜で行なわれる、火難除けの神事。神職が灯した炎を大小さまざまのたいまつへと移していき、石鳥居と神社の間の参道は煌々と輝く。